

第2回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和3年7月1日(木) 18:00~20:21 (所要時間=2時間21分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委員】 21名

【事務局】 6名 教育次長、指導参事
学務課 課長、副審議監、課長補佐、学校教育係長、総務係

○傍聴者 6名 (男性4名、女性2名)

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

- ・小中学校の統合時期並びに小中一貫教育について

事務局 「小中学校の統合時期並びに小中一貫教育について」事務局より説明

会長 只今の説明で、中学校の統合は令和5年と、2年をきっているということです。小学校は令和8年ですから間近に迫ってきているといえます。統合時期の決定については、今示されましたが、以前からずっと議論をされてきた中で決まったというふうに理解をしてください。やっとここまできて義務教育学校という言葉が明確に出てきたなど、私はそういう認識でいます。ですからそれらを踏まえて、皆様ご議論いただければと思います。

何か質問・ご意見のある方は、挙手のうえ発言をお願いいたします。

委員 今回の基本計画は、もともとありましたので、そこに向かって推進するという事で、このような決定があったと思いますが、正直、私の感覚として違っていたので、驚いたというか急だなという感じはしています。基本計画にも書かれています。この資料の一番下にある通り、「本計画の推進に関わるそれぞれの時期については、保護者や地域等の皆様のご理解により、早期に協議・諸条件等が整った場合は、実施時期を早めることも検討する」というふうに書かれておりましたし、前回の会議でも、私としては確認したつもりで、今後アンケートを取って課題の整理などを行ってから検討に入るというふうに捉えておりました。いろいろな事情もあるでしょうし、このことは最終的に教育委員会が判断するという事で、そういう意味で早めるという決断に至ったということだと思っておりますが、義

務教育学校については、すでに基本計画として謳っているのですが、先ほど会長からもあった通り、いろいろな問題の協議結果があってそういう結論になったということで理解できますが、統合の時期を早めることについては、もう少し慎重な議論があってよかったのかなと思います。我々としてもいろいろな意見を言う部分があったのかなというふうに捉えております。ただ、今言ったように、最終的な判断は教育委員会ということですので、今後この会議を進めていくことにおいては、いきなり決定することもあり得るのかもしれないですが、できればこの会議の中で一度議論にあげていただき、皆さんでいい学校をつくるような話し合いがしていけるようになればというふうに考えております。

それともう1点、学校で配られた文書にもありますが、「小学校7校のPTAより基本計画に対する同意を頂き、合意形成が図られるとともに」、という文について、私の感覚としては、同意書というのは基本計画に対する同意であり、基本計画を進めることには確かに同意したと思うが、そこに書かれていること細かな内容や、基本計画の中で検討するとしていたことなど、その内容まで同意したということではないと思っています。ですから、このように書かれると、全ての内容がPTAの中で同意されたと捉えられると困りますので、合意形成が図られたという表現を使ったり、そのように考えられるとすれば、ぜひ、一言こういうことで合意というような捉え方でいいのだろうかということをお願いしたいと思っております。また、協議するような件については、市P連に諮ってPTAの意見をまとめるなど、そのような手続きを踏んでいただければと思っておりますので、2点ご意見として言わせていただきたいと思います。

事務局

まず、統合年度の話がございましたが、会長のほうから話がございました通り、この間、教育委員会としましては、計画では、統合年度について非常に流動的な書き方があり申し訳ないところもあったと認識しておりますが、統合年度の決定につきましては、この間、教育委員会会議の中で教育委員さんもしっかりと慎重に議論を重ねてきております。

適正配置の検討のきっかけを申しますと、現在の学校の規模が適正にないという状況が起点となっており、それぞれの学校が、既に1学年1学級という状態であり、北光小学校では、一部、複式学級となっています。この状態が正常ではないということではございませんが、いずれにしてもクラス替えができない、切磋琢磨が難しい環境にあるということです。

教育活動における具体的な例を申しますと、石山中学校の部活動は、野球部が5人の状況もありましたし、サッカー一部については募集停止、バスケットをしたいから砂中に行きたいというお子さんもおり、この狭い行政エリアの中でこのようなことが起きています。もう1つ加えますと、北光小学校では男の子が1人の学年と女の子が1人という学年がございます。修学旅行などではその子たちは1人で過ごす場面も考えられ、一般的な修学旅行とは違う経験をすることになると思います。それでもきっと楽しい思い出になるとは思いますが、2キロしか離れていない中央小学校にはたくさん子どもたちがいます。そういう中でなぜ北光小学校の子が、男の子1人、或いは女の子1人で過ごさなければいけないのかという状況になります。

そのような中で物理的な要素で整うのであれば、早く適正規模にない状態を解消したい。法令でいう12~18学級の規模に、早く措置すべきというのがまず1つありました。先ほどバスの関係で説明したとおり、物理的な部分でなかなか統合年度を早めることが難しいとされていたことが、それぞれクリアできる見通しとなりましたので、少し乱暴な手順かもしれませんが、早く子どもたちにいい学校・

いい教育環境を提供したいという思いから、協議の中で前倒しという結論に至ったと認識をしています。

それぞれの思いがあるというふうに思いますが、先般の説明会の中でも、或いは従前の意見を聞く会の中でも、統合をできれば早めてほしい、小中一貫教育を早く導入してほしい、という声もございましたので、それらを考慮して、この度、可能であれば前倒しをするというふうに至った訳でございます。

きちんと回答になっているか微妙なところもあると存じますが、この辺については、よろしくご理解をいただきたいと思っております。

それともう1点、同意書の関係でございますが、あくまでも、全て計画のままという訳ではございません。計画自体にそれぞれ具体的な項目、細部にわたるような記述もない部分もありますので、いわゆる合意形成については、計画に関する大綱的な合意ということで事務局のほうでは認識しております。

具体的に申しますと、学校統合したときのスクールバスの運行については、合意をいただけたらと思っておりますが、例えばバスの停留所ですとか、対象となる児童生徒などは、基本的にはこれからの議論と考えております。計画では、国の基準を引用して、小学校は4km、中学校は6kmとして基準を示しておりますが、これらについては、砂川市が豪雪地帯ということでございますので、いろいろと準備委員会の中で提案した内容に対してご意見を参酌させていただきたいと思っております。その点などから、あくまでも合意形成というのは、計画に基づく大綱的なものと認識させていただきたいと思っておりますし、そのために統合準備委員会を設置させていただいて皆様からご意見を頂くという手法を取らせていただいておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

委員

中学校の統合を1年9か月でしなければいけないのは、正直スケジュール的にも可能かどうかかわからないですし、そもそも統合に向けて何が課題で何が必要でという洗い出しのない中でゴールだけが先に決まってしまうということに関しては、戸惑ってしまうなと思うところであります。とはいえ、決まったことに向かって、しっかり意見を交わしながら進めていくということは必要でございますので、まずは子どもたちのためにという部分でしっかり気持ちを汲んでやっていきたいなと思っております。

あと、こういった大きな決定に我々の中で、文章にもありますけども、検討というところが少し抜けているのではないかという感じを抱いており、我々はこの会議で今後何の意見を交わして何を決定するのかということをお教えいただきたいと思っております。

事務局

この会議の中で何を決定していくかという点であります。これからは、事務局の方で様々ご提案していく中で、皆様にいろいろご意見等を頂くという流れになっていきます。基本的には、中学校と小学校を区分して考えますと、まず中学校の統合が先に来ますので、校長の裁量というか管理運営事項もありますが、しっかりと皆さんと協議したいと思っております。そして、その先に砂川市の場合、小学校統合と同時に義務教育学校を設置するとしておりますので、これからはスクールバスの関係ですとか、あるいは教育課程、先生方が中心になるかとは思いますが、教育活動等における学年の区切りなど、そのようなことについて、議論を進めたいと思っております。

最後の方で触れようと思っておりましたが、次回の準備委員会においては、いろいろそういった部分をきちんと決めていただくこと、課題として取り上げることを明確に箇条書きして、加えて事務局の考えも添えて皆様に一つひとつ確認と言

いますかご意見をいただきたいと思っております。

委員 先ほど事務局からありましたとおり、いかにより良い学校を作るかということ
を協議する場所だと思っておりますので、今後は事務局含めて、みんなで良い学
校を作るという観点で話し合いができればいいと思っております。今後ともよろ
しく願います。

会長 他によろしいでしょうか。なければ次に協議のほうに移ります。
今日は3つの項目があります。まず1点目として「学校生活に関する事項につ
いて」、つまり校歌、校章、校旗、校則等ということになりますが、皆さん、視点
として忘れていただきたくないのは、まず中学校に絞りましょう。そして、その
5年後には義務教育学校になるということ。そのときにはすべてが変わります。
ですから、中学校の統合はあくまでもその過程の第一歩であると思っていま
す。そこを踏まえて議論をしていただかなければ話が違う方向に行ってしまうと
思いますので、その点を踏まえて意見を出していただければと思っております。
それでは、事務局のほうから説明をお願いいたします。

4. 協議事項

- ・ 学校生活に関する事項について
- ・ アンケートの実施について
- ・ スクールバスの運行について

事務局 「学校生活に関する事項について」事務局より説明

委員 基本的には5年後に義務教育学校ということで、逆を言うと5年間の間、どう
いう中学校を目指すかということだと思います。その中で今、砂川・石山中学校、
それぞれPTA会長さんもいろいろな思いがあるかと思いますが、これ
から中学校に入学する子どもの親として話させていただきますと、これから統合
に向かうギャップというか、生徒さんたちの中にもいろんな心配をされている方
もいらっしゃると思います。もちろんアンケートにもいろいろな設問がありますが、
まずはそういう意味も含めて砂川中学校と石山中学校の中で、これから目指す校
歌・校旗・教育目標・校則、その辺りについて生徒たち同士にぜひ協議してもら
えばいいと思っています。文科省のほうでもルールメイキングが推奨されていま
すし、自分たちが校則を決めるなど、まずは中学校の在り方として子どもたちに
積極的に取り組んでもらえたらいいのかなというふうに思っています。そのよう
なやり方はどうでしょうかという提案でございます。

会長 私が考える一番問題になっていくであろう点は、砂川中学校の校舎を使うとい
うところだと思います。以前に豊沼中学校と砂川中学校が統合したときは、全て
を新しく決めていく中で砂川中学校という名前になったことは前回申し上げたと
思います。当然、砂川中学校と石山中学校も、同じように全てがリセットして校
歌とか全部決められればよいとは思いますが、多分それは時間的に無理というこ
とになると、どちらかのものを使うという選択肢しかないと思います。そこをど

うするか。いわゆる名前は「砂川中学校」に多分なるのではないかと思います、要は校歌です。そこが一番大きな問題。校歌はとても大切な部分だと感じていますので、それを石山中学校が砂川中学校と一緒になったときに、それがどのようなのかというのはイメージが湧かないのですが、その辺はどうでしょうか。

委員 時間的な問題は当然ありますが、そのままを採用するというのはあまりにも能がないと思います。お互いにいろいろやり取りをしながら、皆さんの意見も聞きながら汲み入れるところは汲み入れた方がよいのではないのでしょうか。そうになると、校長先生にお聞きしたいのですが、どのくらいのタイミングまでに意見を集約すれば間に合ってくるのでしょうか。それにより、子どもたちに聞くとか、今度は子どもたちと先生、そして保護者も話に入るとか、いろいろなプロセスを作れると思います。日程とそれに合わせてのいろいろな方法を考えていけばいいのではと思いますが、日程的にはどのくらいなのでしょう。

委員 具体的な日程の質問がありましたが、まず、どの程度のことをやるのかによって逆に日程が決まってくると思います。この後、議題の中では、小学校5、6年生でしょうか、統合年度に関わる、子どもたちに、それから保護者に関わってアンケートを取るような方向で動くとお伺いしております。まずは統合をするにあたって校舎は何を使うか、それから校歌はどうするかということも大事ですが、それに向かうために子どもたちや保護者がどのような学校に対してのイメージをもつのか。つまり、期待であったり不安だったり、そういったものを明らかにしたうえで何を協議しなければならないのかというのがそこで初めて明らかになり、それを解決するためにどんな答えが作られるべきなのか、多分この準備委員会の中だけでの話にはならないと思います。

例えばこの後想定されるのは、学校サイドで教育課程をどうしていくのか、石山中が今やっている教育課程ですごくいいものもきっとあるでしょうし、砂川中は、砂川中で今までこういうふうやってきた狙いがあります。それを両方全部いっぺんに取り入れるというのは時間的には絶対無理だと思うので、その良さをどこまで出せるのかというのは学校職員に任されるべきだと思いますし、また、先ほど会長さんからもお話あったように、校則について言えば、先日両校の会長さん・校長集まって話し合ったときに、お互い「校則」という言い方はしていないという確認をしました。というのは、あくまでも、子どもたちが、先生方、それから保護者含めて砂川中は決めていますし、石山中の方でも、これが決まりだから守りなさいというスタンスで決めたことではないそうです。そういうのを並べてみて初めて知ったという状況もあり、まだまだ明らかにしなければならないものがたくさんある中でどのくらいの期間か、というところでは答えづらい部分はありますが、早ければ早いに越したことはないかなと、私は思っています。

委員 はい、どこくらいまでに決まっていればいいのかという部分ですが、例年の学校の流れでいくと、新年度に向けた計画を立てるにあたっては、冬休み前にはある程度大きな形は決まっていないと、冬休み明けて3学期くらいからは新年度のいろいろなことを検討していく時期になりますので、来年度の2学期中には遅くとも決まっていないと厳しいかなと思います。

そうすると本当に時間がないという部分はありますが、今、スタートに立ったと思っていますので、逆に考えれば、前回の会議のときに統合年度を早めに示してほしいという意見もあったので、今回示された中でこの話し合いができていくという意味では、スピード感をもって進んだなと私は感じています。

統合年度を早めるのであれば本当に期間が短いので、早く決断して、早くそれに向けた準備が進められるというのが望ましいというふうに私は思います。そういう意味では、ここから先でしっかりと話し合いをしていけばいいのかなと思っており、スケジュール等もやっと統合校のスタートが決まったというところなので、ここから協力しながら進めていければと私は考えています。

委員 今のお話だと、今日、明日で決めなければいけないということではないようなので、もう少しいろいろな議論をしてから決めてもいいと思います。基本的な考えとして、先ほど会長の挨拶にもあったように、今後、小学校の統合も頭の中に入れながら話し合ひしましょうということだったと思いますが、結局、義務教育学校・小中一貫校を作るという1つのプロセスとして中学校が一緒になるということですから、統合して小中一貫校ができたときにどういう学校を作るのかというものがまず見えないと、今、中学校2つの統合といっても、目指すものは将来の小中一貫の義務教育学校だと思うので、そういう話もまずはしていかなければと思います。校則どうするって言うてもどういう学校を目指すかがわからなかったら校則は作りようがないと思います。だから、基本的な話しをしてからでも大丈夫なのかなと思うので、1回2回そういう話があったうえで判断するのも1つの手ではないかというふうに考えます。

副会長 今話を聞いていけば、要するに統合の在り方については、前回お話しされたように、対等統合ということで、石山中学校のPTA・砂川中学校のPTA、それから砂川中学校の校長先生や石山中学校の校長先生は、そういう押さえでいいということですか。吸収統合ではなくて対等統合ですね。そうすると、対等統合ということであれば、議論はやはりここで十分に積んでいかなきゃならないと思います。ところが吸収統合であれば、砂川中学校の校章なり、校旗なり、校歌というのはそのまま使えるのですよね。でも今話を聞くと、要するに基本的に言えば対等統合にしていって全て新たにしていって進んでいきたいという考えでよろしいでしょうか。その辺聞かせてください。

委員 対等とかではなくて、今回は、前回も確認したと思いますが、いろいろな事情によって砂川としては小中一貫の学校を作るその1つの手段としてであり、中学校は石山中学校だけが問題があつてなくなるということではなく、砂川中学校も将来的に維持が難しいから統合するという話だと思うので、決して吸収とかという問題ではなく、新しいよい学校を作る、砂川全体でいい学校を作るという話だったと私は理解していましたが。

委員 吸収とか対等とかという言葉にあまりこだわるべきではないと思っています。ただ、現実の問題だけでお話をさせていただくと、例えば今出てきた「対等統合」をもしするとなると、砂中も閉校になるんですよ。砂中を閉校して、義務教育学校でまた新しくなるというのは、正直現実的ではない動きなのかなと思います。先ほどから、お話しされているのが、対等とか吸収とかそういうことではなくて、とりあえず砂川中学校の校舎を使って一緒になり、その中で、今やっている教育活動をどうブラッシュアップしていくのか、石山中の良さ、砂川中の良さ、それぞれの良さをどういうふうに混ぜながら良い中学校にしていくのかという協議を我々もそうですし、生徒同士の取組だとかそういった部分も含めながらやっていってはどうかというふうなお話かと私は受け取っていました。

ですので、あまり吸収とか対等とかということじゃなくて、現実問題で令和5

年4月にニュー砂川中学校として校章だとかそういったものを全て変えるというのは、その先も含めると正直難しいのではないかと私は思っていますし、一番にやらなければならないのは、子どもたちや保護者や我々職員がどんな学校を作りたいかというところに重きを置いて時間を使い、議論を重ねることが大事なのかなというふうに押さえています。話しが逸れたかもしれませんが、そのように思っています。

委員 実私も小学校の閉校を経験した者なんです。6年生まで通って最後の卒業生となった後に焼山小学校がなくなって中央小学校と一緒にになりました。やはり学校がなくなるというのは私としては寂しい思いをした記憶がありますけれども、今回の経緯に関していえば、石山中学校が先に統合されるということで、その後、砂川中学校が義務教育学校になったときには閉校という形になるわけですよね。その移行期間というふうに考えると、石山中学校の生徒や保護者にとってみると、時期は早いかもしれませんが、このタイミングで移行して一緒になる。数年後には、砂川中学校も閉校になりますので、そういった形の移行を取っていくのがいいのかなと。そうすれば何も議論をすることもなく、一つひとつの学校が閉じていって新しい義務教育学校になっていくというのが一番スムーズに進んでいくのではないのかなとっております。そうすることによって検討するものがなくなっていくのではないかなというのが私の意見であります。

委員 石山中学校区の小学校として、今の話から閉校になるという形に関して言えば、それは先の時期を見ると致し方ないと正直本音で思っております。基本的に石山中学校が閉校になって、その後砂川中学校に入りますという考え方としては、スケジュールをみてもそれしかないのかなと思います。その中で例えば、校名が砂川中学校で石山中学校の校歌を使いましょうとなった時に、石山中学校の校歌を見ていただければ分かると思いますが、砂川中学校に「石山の すそのはるかに」は、あわないと思うので、その辺はいいかなと思います。ですが、例えば、校則とは言わないまでも、決まり事という細部の部分まで全て含めて砂川中学校に合わせてしまえば、確かにスケジュール的には決めることもなく早くはなると思うのですが、今私の子が石山中学校にいて、スケジュールでいくとちょうど中学3年生で移行する形になるんですが、周りの子たちと保護者さんとかと話した中で、やはり移動する生徒ももちろん負担がかかると思いますし、心理的なプレッシャーもあると思います。そんな中で子どもたちがどうスムーズに1つの学校で合流できるのかという部分を主点的に考え、全てをあわせるのではなく、お互いに会ったときにより良いものを作るという考えでお話を進めていきたいなと思っております。

委員 まず、中学校が一緒になる話で今のところ聞いている話では、砂川中学校になってしまうみたいな話になっていますが、こちらとしても、それだと保護者・子どもの意見を聞くという捉えにはならないと思います。去年の説明会があったときにたくさんの保護者から意見を頂いて納得できない部分が多々あったので、今の話だけを聞くと僕は納得できないかなという感じではあります。ただ、スケジュール的にはかなり厳しい状態なので、砂川中学校のものを使わなければいけないのかなと思いますが、これはあくまでもスケジュールを悪い言い方をすると、勝手に決まって早まってしまっている感があり、その辺も、日数がないからこれでいこうじゃなくて真剣に話し合っ決めていきたいなと思っております。

委員

私の経験上の話ですけど、豊沼小学校出身でして、うちの兄が中学校3年生のときに豊沼中学校から砂川中学校に統合した年、僕はその第1期で、統合して整理されたときの1年目を迎えた生徒であります。そのとき、記憶が定かではありませんが、制服がバラバラだったりジャージがバラバラだったりとかしていましたが、僕の世代で一緒になったという記憶があって、そういうことで同じなのかと思っていました。その当時の統合の計画とか資料があればそれをもって協議できるのではないかなと思ったところでもございます。そして、もしも校歌とか全部変えるのであれば、小中一貫校のルールも全部合わせて協議して、統合のときに間に合えば令和5年度からそのルールを適応して、1年半くらいしかないですけど、急いでやればできなくもないのかなと思っていますので、最初からそのルールでいけば一番スムーズじゃないかなと僕は考えました。

委員

砂川南高校と砂川北高校の統合の時からいるものですから、この統合ということに関しては他人事ではないなというふうに私は感じました。自分のこれまでの経験が今の形とどこまで重なるのかというところで、まず、正論めいたことを先に言いますと、統合が目標ではなくて、小中一貫教育を推進して義務教育学校を我々で完成させるんだと。その過渡期にある件について今ここで議論を交わしているのかなというふうに感じております。ですから、あくまでも核になるということで、ここまで果敢な中学生たちに、私たちの提案が説明できるのかなという、そういう視点で話を聞いております。今、話の流れで校歌という1つのテーマにきておりますけど、今回プロセスを作って校歌をそれに入れるという提案をした方にしては、やはり校歌というのは自分の中では1曲しかないはずですが、それが統合によって校歌が2つになる、高校生には受け入れさせましたけど、中学生にはそれは果たして大丈夫なのかというところを聞きながら感じていました。過渡期であるから、こういうルールでやってみたらどうなのか、学校を設置する側に見ればここは譲れないというところはもちろんありますけれども、声としてそれが通せる意見を汲み上げていくということは私たちのほうでやってみることができないのではないかなというふうに感じました。

委員

委員の中で、子どもたちに決めさせる部分もあったらいいんじゃないかということで、おっしゃっていたことに私もそうだなというふうに思いました。時間が少ないというふうな話も聞こえてきますが、だいたい来年の2学期、冬休み前がリミットとすれば、例えば生徒会の子どもたちがZOOMとかで交流しながらいろいろ話し合う時間もまだあるなというふうに思っているので、そういったことも取り入れながらできたらいいと思います。

委員

いろいろなお話を聞いていて、2つの学校が統合ということになると2つの学校の文化となるわけだから、その文化をどういうふうに整理するかというところが一番難しいところなのかなと思います。別な委員が言っていましたが、一緒に議論し、お互いに良い所を融合して1つのものを作り上げていくという部分と、ここの部分は、令和8年度に義務教育学校になるわけだから既存のものを使うなど、みんなが納得できるような形でできればなというふうには聞いていました。今日は多分結論は出ないと思いますので、中学生に聞いてみたらいいのかなと思います。ちなみに、今までの話とは逸れますが、6年生のある女の子が統合になりますよというような話を聞いたときに、怒られるかもしれないけど、砂川中学校の制服のほうがいいなというふうに言っていました。私たちのときはどうなるのかというふうに言っていて、私たちは来年中1になるので、石山中学校に行く

が途中で変わるんだよね、そのとき制服どうなるんだろう、今から新しいほうになったらいいなみたいなことを言っていました。それから今の5年生の子たちは、初めて統合中学校として行くことになると思いますが、その年齢まで引き下げて、中学校はどうなるのかということについて、聞いてみてもいいのかなというふうには感じています。

委員

今までの議論とずれるかもしれませんが、思ったことを話させていただきたいと思います。中学校の統合が1つ、それから小学校の統合が1つ、それから決定しました義務教育学校の設立、これが1つだというふうにそれぞれ、大きなパッケージで見れば同じことなのかもしれませんが、それぞれ違うものだというふうに思います。今、中学校の統合ということでいえば、先ほど両中学校PTA会長さんと校長先生と4人でお話をもったとお聞きしましたが、ある程度当該の中学校2校を含めた関係者、PTA組織など、CSも含めて任せていいのかなと思っています。ここの統合準備委員会がどういった立ち位置にあるのかというのは、それはあると思いますが、そこで2校で協議するようなことを、この会は補完をしていくというような、そういった役割があってもいいと思っています。同様に、この後小学校の統合もありますし、私は、別だと申し上げましたが、義務教育学校の設立に向けての動きは、今回は別に、一貫教育推進委員会もございしますが、そこの業務の守備範囲の確認というのもありますし、そういったものも含めて任せるところと今回が預かるるところというのをもう少し整理したほうがいいのかなということを感じています。

委員

今いろんな話を聞いていて、どういうふうに話をしているのか正直とても迷っています。本当に時間がないです。もう今年、7月ですよ。令和5年に中学校が一緒になるというふうになって逆算したときに、本当に時間がない。もっと言ったら小学校が一緒になる、義務教育学校になるまでには本当に時間がないです。その中でいかにどうやっていくのかということを考えてはいけませんが、統合というのは本当に難しい問題だと私は思っています。随分古い話ですけども、管内の自治体で小学校1校、中学校1校に一気に統合した例がありました。そのときに一番揉めたのは、やはり学校名何にする、校舎どうする、校旗どうする、校章どうする、本当にいろいろな話をする時間が全然なくて、保護者からかなりのハレーションが起きているというのは聞いたことがありました。実は、保護者よりも一番傷ついているのは、子どもたちだったのではないかと、あのとき思っていました。そういう意味では、子どもたちに意見を言わせながら、お互いに砂中・石中の子どもたちが、生徒会の子どもたちが中心になるのかもしれませんが、子どもたちが中心になっているいろいろな話し合いを持って自分たちがいる学校をどうするかということを検討し合うのはとても大事なことで私は思っています。ただ、令和5年から令和8年で、3年間しかないんですよ。その3年間でどういうふうにしていくかというのを短い間で、でもそのときに中1になった子は卒業したときに義務教育学校になるんですよ。そういうふうに考えていくと、やはりじっくり考えなくちゃならない部分と、子どもに考えさせる部分、それとある程度大人が考えて意見を出し合って大人のほうが反対に泥をかぶる部分が必要になってくるのかなというふうに私は思っています。そういう意味で、子どもたちに何をどこまでどういうふうに話し合わせて決めさせる機会を設けるのか、大人たちがこれはここを決めて、ここは子どもたちに話をして大人が泥をかぶるというのを設けたほうが、私はいいのかなというふうに考えました。

委員

私が教頭になった1年目、その3年後に小学校が6校から1校に閉校になるというような大変な時期を経験しました。当時のことを思い出しながらお話を聞いていました。もちろん、砂川の状況とは同じではないので、それぞれの状況を同一視することはなかなかできないかなとは思いますが、今日皆さんのいろいろなお話を聞く中で、ヒントがいろいろ見えてきたのかなという思いで私は皆さんのお話を聞いていました。これは私の感覚ですが、中学校勤務が私はないので、あくまでもイメージ的な部分ということでお話聞いてもらいたいですけど、大きく分けてハード面の部分とソフト面の部分に分けられるのかなというふうな気がしていました。ハード面というと、例えば校舎どうするか、校旗どうするか、校章どうするか、校歌どうするか、制服どうするかという側の部分ですね。外から形として残っていく部分。それから、ソフト面でと考えるならば、教育課程、カリキュラム的な部分ですね。行事、生徒会の在り方、部活の在り方、生徒の中学校での生活の心得、という部分がソフト面としてあるのかなと。いずれにしても、スケジュールのゴールが決まっている部分ですので、全てを子どもたちに相談してもらうこと、保護者と相談、それから教職員で、というふうなことはなかなか難しかりょうし、一番大切にしなければならない生徒・子どもたちの緊張・不安を払拭するという面でも、どの部分を誰に議論してもらうのかなという、議論のフレームを立てる必要があるのかなと思います。教職員が議論するのはこここここの部分、保護者がアンケートを取ったり意向を汲んだりするのは、こここここの部分、ここは生徒に議論を任せてみようというような、最終的には大人が判断になるかと思いますが、その中心になって話をしてもらって議論のフレーム立てをまず明らかにして早急に取りかかるということが具体的な取組なのかなという気がしながらお話聞かせていただきました。

委員

話を聞いていて本当に難しいと思いましたが、今砂川の場合は、中学校の統合と話していましたが、令和5年というのはあくまでも通過点で押さえないと進めないのではないかと思います。だから、令和5年のスタートのときに中学校という確固たるものを作ろうと思ったら絶対に時間的に無理だと思います。だから、あくまでも令和5年のときには、中学校は形としては1つのところで集まったけど、中身は3年後に向けて一緒に石中と砂中の生徒たちが、新しい学校に向けて考え出す時というそのくらいの押さえでないと進んでいけないかなと。だから、私なんかだったら、ざっくり考えたら令和5年スタートのときに学校の中に制服、両方いてもいいやと。3年間の間に新しい義務教育学校の中学生の部分の制服はどうすると子どもたちにも投げかけて、制服はいらないとかこういうのがいいとか、そこから、新しい学校に向けて子どもたちが一緒に考える。ただ、教育課程の部分についてはそんな呑気なことは言っていられないので、その部分はそれぞれ校長先生方が中心になって、新しい教育課程はきちんと令和5年スタートのときまでには整えなければいけないが、それじゃない部分については令和5年のところからスタートしようという気持ちでいいのかなと。令和5年までに全部しようと思ったら息が詰まりそうで、そんな気でいます。

委員

校長先生方がいるなかでこんなことを言うのは申し訳ないですけども、私が小学校、中学校のときは、校長先生のお話とかで教育目標とかすごく長く、いいお話をしてくださるんですけども、正直言ってあまり心に響かなくて、申し訳ないですが、すごくそう感じていました。ただ大人になってみるとすごく大事ななと感じていて、なので子どもたちにも通じるようにするには、子どもたちが作っ

ていくというのは必要なかなって思っています。やっぱり子どもたちの意見を尊重してあげたいなって、新しく作るのだから子どもたちが通うんだからすごく大事にしてほしいなと思っています。

委員

僕みたいな素人が考えると頭がついていかないみたいですが、1、6年生の子を持つ保護者として、それ以外の保護者の方にも話を聞いて、率直な意見を言っていきたいなと思います。まず、僕の息子も石山中学校区ということで、仮に砂中をベースとして統合した場合、校歌などそういう部分が全部変わってしまう、制服も変わってしまうとなれば、石山中学校区の子たちも負担・ストレスといえますか、ただでさえ少数の子どもたちが大人数の砂川中学校が飲み込むわけですから、そういう心理的ストレスというのが間違いなくあると思います。それと制服が新しくなるという家庭への負担もあると思います。先ほど別な委員が言っていたように、僕としては、統合の準備期間は制服・ジャージ別々でも全然いいと思いますし、これはちょっと無理なのかなと思いますけれども、校歌を2つ歌ったり、石山中学校から来ている子たちもいるわけですから、それをなくさないためにも、その準備期間だけでも両方歌ったりとか、そういうようなことでも、素人考えですけど、いいのかなというか、そうあってほしいという思いです。結局は子どもたちにストレスとかそういうようなものを与えないように大人たちで決めていければいいのかなと。先ほどおっしゃっていたように、子どもたちで決める部分は子どもたちが話し合っただけで決めていけば、子どもたちが自分で決めたことなんだからということで納得して学校生活を送っていけるのでないかなというふうに思いました。

委員

まずは多くの皆様からたくさんご意見を頂きましてありがたいお言葉だなというふうに感じさせていただきました。ここでお詫びを申し上げたいと思いますが、先ほど校長先生からお話があったように、先日両校長と両会長と4名で集まってお話をさせていただきました。この話を前段にしていればこのような時間を使っていたくことはなかったかもしれませんが、そのお話しさせていただいたことの中で、先ほど別な委員からもご意見頂きましたが、せっかくこのような20人以上も集まる会議の時間に小さな話というか、もっともっと大事な、大卒の話をしてもらうために、我々の中である程度方向性を持った話をして、そしてこの会議の場でご報告をさせていただいて、それに対してご意見を求める、出てきたものを諮るような会議の進め方のほうが皆様に来ていただく時間を有効に使えるのではないかという話をしたにもかかわらず、前段にすることができず申し訳ないなと思っています。

雑ぱくにその話をさせていただきますと、まず会議の順番として、7月に行われるアンケート、このアンケートの内容をもって我々の中でもう一度4人で集まって話をして、フレームの組み立てをしていくことが必要なんじゃないかなというふうに思っています。アンケートの範囲に関しても、今小学5年生から中学1年生ということで出ていますが、それが本当にふさわしいのかどうかということで、今中学2年生、3年生はどうなのか、もしくは小学校と中学校と同じアンケートでいいのかどうか、などの話もさせていただいております。そういったことを詰めていきながらやりたいなというふうに思っているのと、各学校の校則であったり校歌であったりというものですけれども、先ほどの話で出たように、砂川中学校に関しては校則ではなく生徒協約となっておりまして、砂川中学校と豊沼中学校が統合した際に、生徒が自分たちで持ち寄って、例えば具体的に言うと砂川中学校の制服で学校に来ていますが、これも生徒たち自身がこのようにしたい、

というような話の中から決まっていることであります。そういった素晴らしい伝統はしっかり引き継いで、自分たちが過ごす学校を自分たちでいかに過ごしやすくするかということ話し合うことが大事じゃないかというふうに思っています。そして、砂川中学校と石山中学校が対等なのかどうなのかという話も出ていましたが、それに関しては両校で良いところをそれぞれ持ち寄って、子どもたちがどう暮らしやすくなるかということに軸を置いて考えていく必要があるという話もさせていただきました。やはり主役が子どもたちである以上は、それを大人の我々が支えてあげることができることではないのかというふうに考えております。あと、PTA同士の組織の統合に関してもこれから順次話し合いしていかなければならないかなと考えているところでございました。

委員 皆さんいろいろな意見あって素晴らしいなと思ったんですけども、別な委員がおっしゃった通り、子どもたちの意見を聞くというのが一番大事じゃないかなと私も思っていますし、目から鱗じゃないですけど、例えば砂川中学校を基本にするけども、校歌だって式典のときは両方の校歌を歌ってもいいし、校旗なんか両方掲げてりゃいいんじゃないかと。校章だって使いたい人はどっち使ってもいいだろうし、そういう考えもあってもいいと思うので、今日はいろんな意見を聞いて良かったなと思います。

副会長 今お話を伺いまして、考え方の違いというのがあるのではないかなと思います。1つはこの準備委員会というのが、統合した中学校をどのような中学校にしていくなのかということ話し合っていくことになっているのか、それとも、校則、校歌ですとか校旗ですとか、そういう具体的なものをどうするのか話し合っていくことなのか、その部分に違いがあるのではないかという気がします。

教育委員会としては、中学校の統合を進めるにあたって、準備委員会の中でどんな中学校を作っていくのかということここで望んでいるのか、または、どのような校則や校旗や校歌、そういうものを進めていくのかということ話し合ってもらいたいのかということ、その辺ははっきりしていただきたいと思います。そういうふうに具体的な話になってくると、例えばさっき皆さんからお話があったように、子どもに話し合わせて、例えば、こういう校歌がいいのではないかとか、または校旗についてはこういうようなデザインがいいのではないかとか、そういう子どもたちの話し合いという場を持ちながら決定できるんじゃないかというようなことが出てきたんですけども、教育委員会としては、大まかに、どのような中学校にしていくなのかということになるのか、それとももっと細かく、校旗や校章等についてどうするのかということについて話し合いをしなきゃいけないのかということ、その辺について確認していただきたいと思うんですけども。

事務局 まず中学校の統合に関するビジョン的なものというところで申しますと、あくまでも中学校それぞれの文化の違いがありますが、基本的には教育課程、学習指導要領、授業時間数などもそれぞれ決まっていますし、教育活動で少し違いはありますが、目指すものというのは一緒ということでございますので、これらから、特段、新しい特色のある学校というのは、正直あまり想定していない部分がございます。ただ、先ほどもありました通り、砂川市としては義務教育学校を目指すということにしておりますので、この部分については、小学校でもなく中学校でもなく、全く違う学校種になるわけですから、この点が今回の適正配置のいわゆる焦点になってくるのかなと思っています。

ただ、中学校の統合について、それがあるからと、ないがしろにするのは決し

て良くないというのは、事務局も認識しておりまして、先ほどから、皆さんからいろいろのご意見を頂きましたが、そういった活発なご意見が交わされる中で子どもたちや保護者への理解が得られる、よりよい学校形態になってほしいということをお願いしているところがございます。また、この場での結論というお話もありましたけれども、実際、この場で決めなきゃならないというのがあると存じますが、ただ、この場ではなくてこの関係については両校の校長先生にお任せしましょうですか、PTA同士の話し合いで決めてもらいましょう、というのでも1つの結論として考えております。ここで答えを出すのではなく、そこに委ねるということも1つの結論というふうに考えておりますので、あくまでも、この委員会で絶対決めなきゃならないという、そこにこだわる必要はないというふうには事務局では考えております。先ほど、子どもたちに聞いたほうがいいのかという意見もございましたので、そういうような方向で皆さんが納得するのであれば我々としてもそれも一つの決定する手段と考えております。

それと、先ほど前回の統合に関わる資料があればというご意見があったかと思いますが、誠に申し訳ないのですが、それらの資料は十分に整っておりません。今、手元に若干の資料がございますが、例えばちょっと紹介しますと、砂川中学校と豊沼中学校の校名を決めるときに、どういう経緯かは記述ありませんが、「砂川」というのが残ったほうが「砂川の学校だ」ということが認知されやすくていいのではないかとということで決定したという記録があります。おそらく保護者の方に聞いたと思いますが、3分の2くらいの意見がそうだったという記録がございます。あと1つ2つ紹介しますと、PTAの規約については両校のPTAで協議して決定した。校歌は両校生徒に募集をかけて両校の教員の協議で決定したという記録がございます。ただ、この結論に至った経過とか会議の資料ですか、そういう細かいところの記録が残念ながら見つからず、顛末しか残っていない状況です。また、記録のあるその顛末も、例えば校旗や校章など、いろいろな決め事がたくさんありますが、全部を網羅している訳でもありません。このため、この関係については、なかなかお示しすることは難しいですけれども、次回、参考までにどんなことがあったか、記録が残っている限りでご紹介したいと思います。

会長 ほかに発言等なければ、時間の都合もあり、この件については、ここで締めさせていただきます。皆さんから出していただいた意見などは事務局でまとめたいただきたいと思います。次にアンケートの実施について、事務局から説明をお願いします。

事務局 「アンケートの実施について」事務局より説明

委員 設問について選択方式と記述方式と併用した方がいいと思うが、記述式にした理由を教えてください。

事務局 選択方式ですとなかなか細かい部分が把握しづらいとしてこのようにしました。「良い」「悪い」「普通」みたいところで整理してしまうと、中間的な意見などが表しにくいと思われましたので、生の声をお聞きしたいということで、あえて記述方式とさせていただきます。

委員 そういうことだとは思いましたが、結構、統合するにあたり不安なことを教えてください、となる前に、統合するにあたり不安に思う・思わない、少し不安・かなり不安のような感じで、傾向が見られるよう選択項目もあったほうがいいのか

ではないかという気がします。その上で、「なぜそう思われますか」みたいな感じで記述してもらえばよいと思います。統合するにあたり期待していますか、統合に対する期待値を教えてください、みたいなものが全体として見えなければ、書かない人の意見は全くどっちの感情なのか分からないというのが怖いというふうに思っていて、問題の設問によっては記述式だけでいいところもあると思いますが、傾向として把握したい部分は、選択もあっていいのかなという気がします。

事務局 おっしゃる通りだと思いますので、その部分を考慮して設問の修正をしたいと思います。

委員 2点質問があります。まずこのアンケート・調査主体が教育委員会、それともこの統合準備委員会の名前でのアンケートなのかというのが1点。2点目は、このアンケートの結果をかなり重要視するという方向をお持ちだと思いますが、なぜ統合を決めたのかという背景というか経緯など何もない中で突然ポンと統合に対する不安はありませんかというふうになっています。何のために学校を作るのかというビジョンを示したうえで、だけど君たちが主役なんだから君たちの声を聞かせてくれと、そういう匂いというかエネルギーというのは、ここに載っていませんが何か背景があるんですか。

事務局 まず1つ目のご質問のアンケートについて、どこが主体となるというところですけれども、適正配置の実施主体は砂川市教育委員会でございますので、これについては市教委が主体となっていくものとしております。ただ、アンケートの配信の仕方、例えばオクレンジャーを使うとした場合、各校の協力を介して保護者の方に配信するという手段を取るような形になりますので、それらについては校長先生にご理解いただきたいとしているところでございます。

それと、砂川市が目指す義務教育学校ですとか、そのビジョンがこのアンケートでは見られないということに関しては、特に大きな理由はございません。実際にこの間、砂川市の適正配置の関係につきましては、検討開始当初より、ホームページ等々で公開もさせていただいておりますので、あえて、文字が多くなるとアンケートを回答するうえで抵抗感があるのかなと考え、字面的な部分は減らした訳でございます。ただ、この点は、ご指摘ありましたので、適正配置に関わって基本方針や基本計画それぞれに目的等を記載しておりますので、それらを要約する形で、アンケートの方には記述したいと思います。

委員 このアンケートですが、正直5つの質問項目の違いが今一わかりません。実は疑問に思うことってありますかと聞いて、統合の形は全然理解していませんと言われると、不安に思うことも期待することも何も答えようがないかと思えます。

基本的には、何か皆さんが分かるように、どういう学校を目指しているのかというような資料を、しかも小学校5、6年生が分かるかと言ったら難しいのかもしれないですが、そうであれば、例えばこれを家に持って帰って親子で、今度こういう学校になるということをお話してもらって1つの資料を見ながら書き入れるとか、何の資料もなく突然1枚の紙で統合になります、いつになります、こういう学校です、という説明書がまだないので何か簡単な説明資料はあったほうがいいのかなと思います。また、設問にしても不安に思うことと期待していることと、その他疑問に思うことやご意見ありましたら、という3つくらいの質問でいいのかなというふうに個人的には思います。あと、名前を書かせるということになっていますけれども、何かあれば連絡取るというのは分かっていますが、書きづらいこ

とも出るのかなというところもあるので、例えば学校名と学年で、あとは生徒なのか保護者なのかに丸をつければいいのかと思います。

委員 アンケート調査のタイトルが「中学校の統合時期決定に伴う」となっていますが、これは誤植というふうに理解してよろしいですかね。「統合に伴う」というアンケートだったらよろしいのかなというふうに思います。あと数点ありますが、対象者が児童生徒及び保護者という形となっていますが、先ほど「子どもの意見も」というふうなことでしたので、その辺り分けた方が後々いいのかなということを感じたりもしました。それから、アンケートを行う主体が教育委員会だということですが、その結果を受けて、例えばものすごく不安だというような声があったら何かしなければいけないわけですよね。そういった部分を教育委員会が主体となって適切に計画を立案していくようなことになるのかなと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局 まず、設問の数ですけども、先ほど3つくらいにしてみてもどうかというご意見ございましたので、確かに不満に思うこと・疑問に思うことというのは混同するような感じの設問となっておりますので、不安に思うことで統一するというところで皆さんに改めてお伺いしたいと存じます。

調査の関係で、回答者の欄で学校名と学年と保護者あるいは児童生徒でいいのでは、とご指摘をいただきましたが、ご意見のとおり、状況により我々から設問の意図とするところを確認するために記名方式という形を取らせていただいたんですが、これについて改めて皆さんにどういった記述がいいのか諮らせていただきたいなと思っております。なお、このアンケートについてはそれぞれ保護者の方、児童生徒というふうに、それぞれに回答いただきたいと考えておりますので、この点については、そのようにさせていただきたいと存じます。

それと、このアンケートのタイトルでございますが、今回、調査対象者については、煩雑にならないように、また、義務教育学校については今後もいろいろな形でアンケートを取っていかねばならないということを考えて、中学校の統合が目の前に控えている点を踏まえ、記載のとおり3学年に絞っております。そのため、中学校の統合時期に関わってという意図から、タイトルに中学校とつけさせていただいております。ただ、これについて混乱を抱くような感じがあるとされるのであれば、削除しても全然問題ないとも考えられますので、これについては削除したいと思います。それと、先程から会長からもありましたので、きちんと砂川市が適正配置を目指すところを、しっかりこのアンケートを通じて明記するという指摘がありましたので、この辺については改善を図っていききたいと思います。

会長 皆さん、記名方式じゃない方がいいということであれば、記名ではない形でやっていきたいと思えます。あと、5つの項目を少し減らすということに関しても問題ないですね。その辺は、教育委員会の方で整理していただきたく、よろしくお願いいたします。

委員 アンケートに関わって、氏名を書かないということだが、紙ベースだと分からないがオクレンジャーで送ると誰が回答したか分かってしまいます。

委員 結局書くほうの心境の問題なので、そのときに自分の名前を書いてアンケートを書くかどうかの違いだけだと思います。だから、オクレンジャーだからばれち

やうだろうなというのは、あまり関係ないかなとも思います。

事務局　　今、委員からご指摘ありました通り、どなたが回答したかオクレンジャーの場合は分かります。ですからその部分に関しては、教育委員会としても見ないということにしたいと思います。ただ、学校のほうでも確認はできますので、オクレンジャーで送る場合については、一切氏名については公表いたしませんという文言をアンケートに添えたいと思いますので、よろしく願いいたします。

会長　　ということで精査いただきたいと思いますので、よろしく願いします。それでは、次に進めますのでご説明お願いいたします。

事務局　　「スクールバスの運行について」事務局より説明

会長　　まず1枚目の、スクールバスの運用方法を見ていただきまして、これ1つ1つ確認をしていきたいと思います。まず対象者、これは中学校統合時、石山中学校の全生徒のみを対象。だから、砂川中学校の生徒は乗れませんよということになるかと思えます。富平とか一の沢とか1人の子をすべて含まれて乗車をする形になっていきますので、これは皆さん問題ないかと思えますけども。

委員　　基本的な考えとして、石山中学校の全生徒のみというのは、石山中学校の生徒が学校統合でなくなって砂川中学校行ったら全生徒を助けますよ、という意味だとしたら、今度小学校を統合するときに全部の学校がなくなるわけですから、そのときは小学校全部の子どもたちをバスで送ってくれという発想につながってしまうと思うので、一応、今の段階からある程度距離みたいなものを一緒に併記して謳うべきじゃないかと思えます。すずらん団地の奥の袋地に子どもがいるかわかりませんが、そこの子が歩いて通っているのにすずらん団地の子はバスで送ってもらっていると、やはり大混乱になると思うので、ある程度みんなを救うと同時に、それ以上の方はバスで送るべきじゃないかなというふうに思えます。

委員　　新しい中学校を作り上げるというコンセプトがある中で、元の中学校の名前でカテゴリーを作るというのは今後やりづらくなるのかなという気がします。ですから、今の委員がお話しされたこと、私も同じように思っています、同じような線引きをするにしても「石山中学校区」という表現が心配だということが分かります。

会長　　他にどうですか。対象者に関してはいいと思いますが、その言葉とか、その辺が問題あるということで。その辺は事務局の方で調整いただければと思います。あとはよろしいでしょうか。なければ次、停留所。まず、雑駁にこう書いてありますが、どうでしょうか。

委員　　停留所ですが、基本的にはこれを見ると、1番は小学校、2、3は、それなりに提示されていて、基本計画で謳っていた部分とそこまで変わらなくて、富平と、一の沢と、すずらん団地が見えたのかなという理解はしていますが、このようにした理由とか距離とか明確な根拠を聞かせていただきたいなと思います。

事務局　　根拠につきましては、先ほど説明の中でお話ししましたが、令和3年5月の住

民基本台帳の生徒数をもとに、分布図の通り記載させていただいています。距離につきましても、各生徒さんの家からの距離という部分を見て、近い所で停留所を設定させていただいていますが、基本的には、実際に遠い停留所から乗る方はいらっしゃるのではないかと思いますが、乗りたい停留所で乗れるということにしています。ただ、空知太東であれば停留所については、空知太小学校なのか、石山中学校なのかということもあるかと思いますが、バスの乗車人数、補助席も含めて大型バスにつきましては60席ということもありますので、実際に導入される前にどういう利用をされるかなどこちらのほうで把握させていただきたいと考えております。

委員 あと、バスの詳細の経路が出ていませんが、1番であれば空地太小学校の校区の方に向かっていくと理解しているんですけども、停留所については、この場所1か所のみなのか、ほかのバス停もご検討されているか教えてください。

事務局 今の段階でシミュレーション的なものは事務局のほうでさせていただいていますが、学校の登校時間が8時10分までということ considering、実際にスタートの地点から学校までの時間の計算や、バスの規模等も含めた中で停留所の設定をさせていただいている状況であります。ただ、他にバス停を増やすということにつきましては、シミュレーション的に何か所かに寄ってしまうと登校時間に間に合わないこともありますので、その辺はもし停留所を増やしたいということであればそちらの部分の意見をお聞かせいただきながら、最終的に、どういう位置に停留所を設けられるかという部分について検討を進めたいと考えております。

委員 当校のPTAの意見交換会の中で、バスの停留所については、保護者の方もとても興味・関心を持っていらっしゃるようで、その中で、バス停については1か所のみではなく経路の中である程度設定できるようにお願いしたいという意見もありましたので、こちらのほうでも検討させていただきます。

会長 ありがとうございました。その辺は細かいところになると思いますが、概ねこういうイメージということで、まずはご理解ください。

委員 停留所に空知太小学校を利用し、令和5年から運行するという話ですが、空知太小学校は令和5年に存在しているのでそこを停留所とした場合に、小学生の安全性の問題と、学校の前、非常に狭いので、果たして停留所として良いのかどうかということがあります。その辺は難しいのかなと見ていますが、どこでバスが停まるのか、どこでバスが展開するのか、生徒がどこから乗るのか、ちょうど子どもたちの登校時間とバッティングする時間にくるのか、といろいろ考えてしまいます。その辺は、多分今日は結論が出ないと思いますが、そこを解決しなきゃいけないかなというふうに思っています。

会長 ありがとうございます。その点はまた次の会議でということでもよろしくお願いたします。他よろしいですかね。続いては、運行回数。下校時は終業時間の違いや部活動の関係から2〜3便とする。登校時は、1便のみという形になります。この辺に関しましては皆様大丈夫でしょうか。はい、ありがとうございます。続いて4点目、休日の運行。学校全体行事の場合は運行しますが、それ以外は部活動とかはありませんよということです。これに関しても大丈夫でしょうか、何かご意見ありますか。

委員 休日の部活動や休業日には基本的には運行しないということですが、基本的に学校全体行事に関しては、ということになっていますが、部活動を除外した理由、バスを出さないという判断に至った経緯を教えてください。

事務局 部活動の休日運行をしないという判断ですが、いろいろと近隣の状況も確認させていただきながら、あくまでも学校統合に伴う通学に限定して整理させていただいています。休日の部活動の関係については、部活動というのは任意で選択式ですので、例えば、ある地域で1人しか部活動に参加してない子どもがいて、そこでバスが出てしまうと、経費的な部分は申し上げたくはないですが、公平性を担保できるのかどうかということもございます。ただ、ここでは、このように記述していますが、まだ事務局のほうでも協議をしている状況であります。他の状況、傾向を踏まえてこのように整理をしましたが、部活動も大事な教育活動の一環ということであり、また、実際に部活動を選ぶ時点で、部活に入るか入らないかという選択の段階で公平性は担保されているという考えもあろうかと思っておりますので、この辺についてはある程度皆さんのほうからいろいろご意見いただきながら判断してまいりたいと思っております。

委員 基本計画の中でも子どもたちの部活動の選択に対する自由度とかの部分も謳っていることだと思いますので、費用がかかる部分は言いづらい部分があると思いますが、どうせ1から構築するのなら、できるだけ生徒たちによりよいものができたらいいなという気持ちもあり、その辺もご検討いただければと思います。

会長 他はよろしいでしょうか。その辺も検討していただきたいと思っております。一般の利用についても、一般の方は同乗しないということでもよろしいですね。6点目の利用料金は無料、これは問題ないですね。7点目、他の支援策ということですが、通学に関わる支援は基本的にスクールバスのみという形で他はありませんということでは何かご意見ありますか。大丈夫でしょうか。

委員 支援策と言われてパッと出てこなかったのですが、例えばどんなことがあるんでしょう。

事務局 例えば、路線バスを利用したいという保護者の方がいらっしゃったときに、その定期券を助成するかどうかということになります。ただ、事務局としてはそういった路線バスについては、一般の人も利用している訳ですから、安全面に配慮してスクールバスだけで登校していただきとする考えから、このような設定をしているところでございます。

委員 例えば、先ほどの部活動に関しては一般のバスに乗られる場合、定期券代を学校で負担しますよ、市で負担しますよみたいなことも選択肢としてはあるということですか。

事務局 これからの協議になろうかと思っておりますけれども、そういった関係についても、中学生であればしっかりとバスに乗られるとも思いますので、状況によってはそういう選択肢も含めながら今後協議させていただきたいと思っております。ただ、先ほどありました通り、できれば部活動も教育活動の一環だという位置づけもありますので、いろいろとこれから協議・検討しなければいけません、もし送迎が必要

だということになれば、スクールバスの運行を基本としたとも考えております。

委員 例えば、市のコミュニティバスあるじゃないですか。通院した後、学校に行きたい場合にそういうのがもしあれば一番いいなというふうな気がしますが、そんなのも随時検討していくということでもいいですか。

事務局 おっしゃる通りです。市の公共交通みたいなものも活用できないかということもごございます。ただ、予約制という中で人数もかなり限られているところでございますので、これから実際に運用に適するかということでもまた検証していきたいなというふうに思います。それと、先ほどご質問のあった件について、回答に補足を入れたいと思いますが、今回のバスの停留所に関しましては、事務局としては基本的に、あちこちに停留すると最初に乗車した子がすごく長い登校時間になってしまうのが1つあります。例えばそこで停まって乗って、次またすぐ停まると路線バスみたいな感じになると、スタートの子どもたちが学校にたどり着くまでに結構な時間を要してしまうということです。それともう1点、路上で普通のバスレーンがないところで乗り降りするのは安全性に欠けるといふ点もございましたので、基本的には立ち寄らずに一気に学校に行くとして今回のシミュレーションを作らせていただきました。拠点はそれぞれ学校敷地を活用しておりますが、先ほど委員からもご指摘あったように、我々もその点については非常に危惧しております。実際に大型バスが出入りする時、子どもたちの安全性が確保できるかどうかということがございます。コミュニティセンターだとなんかということも含めて検討はしておりました。ただ、どうしても大型バスというところでいきますと、広い敷地が必要だということもございまして学校に頼らざるを得ないということで今回整理をさせていただいています。今後はこれらも含めて今日初めてお示したところでもございますので、皆さんのほうで次回また、これをもっとこうあるべきだ、こうすべきだ、というところがあればご意見等を頂ければなと思っております。もう一つ加えますと、1か所にする理由としましては、登校自体が教育の一環でもあるということがございます。体力の保持増進につながるとか、季節の移り変わりを肌で感じて感性を養う、友達と話してコミュニケーション能力を養うとか、そういった教育要素が登校にはたくさん詰まっております。ですので、玄関から玄関ではなくて一定の距離を少し歩くというのも大事な要素なのではないかなという点もございまして、今回はそのような不親切な感じにはなっておりますが、いっぺんに皆さんに集まっていたら、いっぺんに乗っていただくという形にしています。

委員 次回まででいいので、総登校時間みたいなものも、指標になるような、ポイントポイントごとのシミュレーションを出していただくとわかりやすいのかなと思います。富平の奥の子と、例えば、空知太東に76番の子が空知太小学校まで一回歩いて行って、そこからバスに乗って統合校までかかったときの時間数というの、ポイントポイントで見せてもらうイメージ付きやすいという気がするので、準備ができればよろしくお願ひします。

委員 スクールバスに関しては、現職時代に運行に絡んでいたものですから、ざっくりばらんに原則3点4点申し上げます。まず1点目は、遠隔地の子どもに対して最大限の優先を図ることが1点です。2つ目、子どもにとっては、通学でやむを得ずバスを使うわけですから、停留所に関しては可能な限り多いほうがいいと思います。したがって①の場合は、学校を使うのは危ないですが、せめてもう1か所、

停留所は多いほうが良いなと思います。ある学校に3年間勤務しましたけども、その自治体はスクールバスのコンセプトは玄関から玄関でした。そういうことから、砂川も少し子どもたちのために玄関まで迎えにきてほしいなと思います。3点目、当然毎年子どもたちも変わりますから、バスの運行ルートに関しては毎年見直しをすることが必要です。4点目、これは質問なんですけど、砂川市の直轄ということなのかそれとも民間に委託するのかどちらでしょう。

事務局 今想定しているのは、バスについては市のほうで購入してそれを企業さんにお貸して委託という形で運行したいと事務局では考えております。

委員 民間委託でバスを運行するのに、保護者にとって一番困るのはバスが定時に来ない場合がある。吹雪とか道路工事とか結構あります。そういうときに一番文句を言いやすい、問い合わせしやすいのは学校になります。学校から教育委員会に電話する、教育委員会は民間会社に電話をする、会社が運転手に電話する。運転手は逆ルートでこっちに来るものですから、ものすごいタイムロスがあります。したがって、バスがきちんと運行しているかどうか、その状況把握について委員会がきちんとできる体制を組まないと、非常に運行上トラブルが発生します。したがって、バスの運行経路に関しては連絡・状況把握できる体制を組むことが大事だと思います。

事務局 まさしく今のご指摘の通りと思います。バスが直営でも委託でも、例えば猛吹雪になると当然遅れます。どちらに転んでも。そういった遅れの時間、例えば先ほどバスの停留所の話もありましたけれども、バスの停留所を増やすことによって、雪の日などいろいろありますから、バスが遅れたり子どもたちも乗る動作が遅くなったりとかして、だんだん遅れていくケースが十分想定されます。

ですから、教育委員会としてはそういったタイムロスをなくすためにバス停をこのように限定的にさせていただいています。バス停を1か所にすることによって、例えば7時10分くらいにバスを待機させておけば、そこに来た子どもたちは外で待つ必要もありません。バスが5分10分遅れて全然来ないということが基本無くなりますので、そういうことを考慮しての今回の提案ということでありました。ただそれが他市町のような、玄関から玄関ということが望ましいということであればそのような形も可能な限り組みますけども、いかんせん先ほどもお話ししましたとおり、間違いなく一番遠い子はかなり早くバスに乗車しなきゃならないということがあるかと思っておりますので、その辺も含めてまたいろいろと論議させていただきたいと思っております。

委員 先ほどの委員が玄関から玄関とおっしゃいましたが、私は反対です。玄関から玄関にすればするほど遠くの子どもたちが、ものすごくバスの中で時間を縛られることになります。小学校1年生は、かなり幼稚園児に近いですけども、中には中学校3年生まで将来的に乗るということでは、ある程度のところで固めてそこでみんなが待っているという形にする。1か所というのはきついかもかもしれませんが、玄関から玄関にすればするほどバスの運行時間は長くなるということで、非常にロスタイムがでるということです。

会長 たくさん意見出させていただいてありがとうございます。これに関しましてもまた今後の協議になるかと思いますが皆さんの意見を反映しつつ進めさせていただきたいと思っております。皆さん本当に申し訳ないです。「その他」に入りたいと存じ

ますが、何かありますでしょうか。

委員 確認ですが、スクールバスの件については、継続協議ということによろしかったでしょうか。

事務局 統合年度が決まりましたので、それまでという期限はございますが、本件については、まずは継続協議ということで、我々もそうしていただきたいと考えています。ぎりぎりまで詰めていただいて、少しでもよりよいものにしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

会長 それ以外はよろしいでしょうか。

事務局 次回の日程についてであります。だいたい1か月後としていまして、事務局では8月2日月曜日と考えておりますが、ちょうど夏休みの時期でもありますので、なかなか難しいとも思っています。皆さんこの辺の日程というのはいかがでしょうか。

会長 はい、皆様8月2日月曜日、18時からこの場所ということなのですがよろしいでしょうか。

事務局 すみません。やはり8月の時期ですと夏休み中でもあり、皆さんの都合が悪いという声もあるかと思っておりますので、その際は事務局のほうに連絡していただければと思います。なるべく皆さんに負担がかからないように調整したいと存じます。

会長 それでは皆さん、本当に長時間にわたりありがとうございました。これをもちまして第2回砂川小中学校統合準備委員会を終了させていただきます。皆様本当にありがとうございました。

以 上